

2026年度 京都大学大学院薬学研究科 一貫制博士課程学生第2次試験（追加募集）募集要項

本研究科の一貫制博士課程は、大学院設置基準第4条にいう博士課程の前期2年及び後期3年の課程に区分しない課程である。

※本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、薬学研究科ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

アドミッション・ポリシー（一貫制博士課程）

薬学研究科は、諸学問領域の統合と演繹を通じて世界に例を見ない創造的な薬学の“創”と“療”の拠点を構築し、先端的創薬科学・医療薬学研究を遂行して人類の健康の進展と社会の発展に大きく貢献することを目標としています。本研究科では、5年一貫という長期ビジョンのもとで、生命倫理を基盤に独創的な創薬研究を遂行しうる優れた資質と能力を有し、将来問題となる創薬関連の諸問題を解決し、未踏分野を切り拓くことができる薬学研究者の育成を目指しています。そのためには、高い研究公正意識、強い責任感、体系的・先端的な知識と技能、それらを柔軟に活用する力、複数の学術分野を統合して未踏学際領域を開拓する力、科学・技術および広汎な社会的課題について複数の解決策を提示できる力、幅広い視野と教養により研究成果を世界に向けて発信・説明できる力が必要です。このような目標のもと、薬学研究科は、以下のような学生を求めています。

1. 医薬科学に関する学修と研究実施に必要な専門知識と技能を持っている人
2. 長期的な視野のもとで医薬科学に関連する未踏学際領域の研究計画・学習計画をたてる素地を持っている人
3. 専門領域において創造性の高い研究を行う適性と熱意を持ち革新的な成果を生み出す挑戦を最後までやり抜く力を持っている人
4. 医薬科学に関して異なる文化・分野の人々ともコミュニケーションできる理解力、思考力、表現力を持っている人
5. 医薬科学の研究を通じて、国際的視野を持って問題解決に貢献し、社会の発展に寄与し、将来はリーダーとして活躍するという責任感、使命感、倫理観のある人

上記のポリシーを実現するため、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いています。各評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。

1. 専門知識を評価するための筆記試験または口頭試問と、倫理性などの評価のための面接試験
2. 学部での主指導教員による研究に対する適性調査
3. 専門知識、批判的思考力及び研究実績などに関する口頭試問

【入学者選抜の概要】

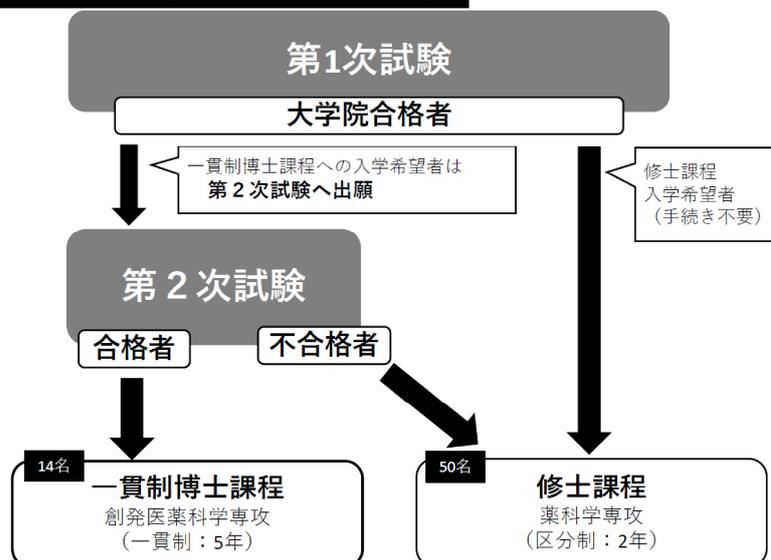
第1次試験として共通の筆記試験及び口頭試問を実施し、合格者を大学院合格者として決定します。大学院合格者は修士課程への入学資格と一貫制博士課程への出願資格を有します。

大学院合格者のうち一貫制博士課程への入学を希望する者は、第2次試験を受験してください。

なお、4月入学の修士課程外国人留学生特別選考の出願者も、第2次試験を受験することができます。

第2次試験の合格者は一貫制博士課程への入学資格を有します。第2次試験不合格の場合でも修士課程の入学資格はそのまま維持されます。

入学者選抜の概要（修士課程・一貫制博士課程）



1. 募集人員

一貫制博士課程（創発医薬科学専攻） 若干名

2. 出願手続等

第2次試験の出願手続は、「インターネット出願システムでの出願登録・必要書類提出」のみで完了する。なお、受験票は願書受理期間1週間後を目途にインターネット出願システムよりダウンロード可能となる。（2月24日頃）

インターネット出願システムのページには、以下のURLからアクセス可能。

https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/5doc2026_2-2

・インターネット出願登録・必要書類提出期間

【第2次試験】2026年2月9日(月)～2026年2月17日(火)17時

※第2次試験の検定料は不要。

(1) 出願書類

すべてインターネット出願システムからのオンライン提出とする。

(ア) 志望願	様式は薬学研究科ホームページまたはインターネット出願システムからダウンロードし、同システムよりオンライン提出すること。
(イ) 指導教員による評価書	インターネット出願システムより指導教員へ作成を依頼し、オンライン提出すること。 ※他研究科・他大学所属の学生は、卒業研究指導者が作成した評価書を提出すること。
(ウ) その他	注1. 参照

- 注1. ① 現在官公庁、企業等に在職中の者について
合格後、在職のまま入学する場合には、入学手続き時に本研究科の研究指導を受けることに支障がないよう配慮する旨記載された代表者又は所属長の発行する書類を提出しなければならない。
- ② 外国人留学生は、在留資格、在留期間及び在留カード等の番号が記載された住民票を提出すること。在留カードの表裏写しでも可。
- ③ 出願者は、出願前に第1志望分野の分野主任と連絡を取ること

3. 入学者選抜方法及び試験科目・試験日程

<第2次試験>

(1) 試験科目

口頭試問 志望願に関する発表（口演10分）及びこれに関する試問を行う。（注1）

（注1）口頭試問の結果、外国語及び専門科目の成績如何に関わらず不合格となることがある。

(2) 試験日程

年月日	試験時間	試験科目	試験会場
2026年 3月2日(月)	(未定) ※別途、インターネット出願システムの受験票ページで通知します。	口頭試問	薬学研究科講義室等

4. 合格者発表 ※電話等による照会には応じません。

<第2次試験>

2026年3月10日(火)10時頃インターネット出願システムの合格発表ページで通知する。

5. 入学料及び授業料 【国費留学生の合格者は後日返還】

入学料 282,000円
授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円)

※入学料及び授業料は予定額なので、改定されることがある。

※入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用される。

※納付時期等については合格者への入学案内送付（2026年3月上旬頃）により通知する。

6. 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学者の受入準備・入学手続き等、③奨学金制度の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

7. 入学試験情報開示について

修士課程及び一貫制博士課程第1次試験における入学試験の成績について、受験者本人からの請求があれば成績を開示する。受験した翌年の4月以降に教務掛窓口で申請を受け付け、開示期間は入学年度内とする。

2026年2月

京都大学大学院薬学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町

(075) 753-4514 (薬学研究科教務掛)

<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/>

2026年度 修士課程・一貫制博士課程 募集分野一覧

指定系				研究分野名	分野主任教員名		募集有無	
物	有	生	医				修士課程	一貫制博士課程
○				構造生物薬学	加藤博章(※1)	教授	○	○
○				生体分子計測学	石濱泰	教授	○	○
○*1	○*1			病態機能分析学	小野正博	教授	○	○
○*2		○*2		システム微生物学	ROBERT, Martin	准教授	○	○
	○			薬品合成化学	高須清誠	教授	○	○
	○			薬品分子化学	竹本佳司(※1)	教授	○	○
	○			創薬有機化学	大野浩章	教授	○	○
	○*3	○*3		システムケモセラピー(制御分子学)	掛谷秀昭	教授	○	○
	○*3	○*3		ケミカルバイオロジー	上杉志成	教授	○	○
		○		システムバイオロジー	土居雅夫	教授	○	○
		○		生体機能化学	今西未来	教授	○	○
		○		組織形成動力学	倉永英里奈	教授	○	○
		○		バイオインフォマティクス	緒方博之	教授	○	○
		○		多細胞システム学	井垣達吏	教授	○	○
		○		代謝ゲノム薬学	木村郁夫	教授	○	○
		○*4	○*4	生体機能解析学	井上飛鳥	教授	○	○
			○	薬剤設計学	樋口ゆり子	教授	○	○
			○	数理治療薬学	山下富義	教授	○	○
			○	薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学	平澤明(※2)	准教授	○	×
			○	医療薬剤学	寺田智祐	教授	○	○
			○	病因免疫学	伊藤能永	教授	○	○
			○	ウイルス制御学	橋口隆生	教授	○	○

物: 物理・分析化学系

有: 有機化学系

生: 生物科学系

医: 医療薬科学系

*1: 物理・分析化学系または有機化学系のいずれかから1問は選択

*2: 物理・分析化学系または生物科学系のいずれかから1問は選択

*3: 有機化学系または生物科学系のいずれかから1問は選択

*4: 生物科学系または医療薬科学系のいずれかから1問は選択

(※1): 2026年3月 退職予定

(※2): 2030年3月 退職予定

研究内容は薬学研究科ホームページを参照すること